

せみ・ソーラーライトのバッテリーの交換について

平成24年10月に当社敷地内に試験設置したせみソーラーライト（SEMI-LED4P-J）のバッテリーが限界に達したので平成27年10月1日に交換しました。（パネル南西向き）

（交換時期は3年後と規定していますが、設置場所、パネル方位、消灯時間設定、バッテリーの個体差などにより若干差が出てきます）

【そろそろ交換の目安】

雨天曇天が3、4日続いても点灯しますが、2日、3日目で不点灯になります。常夜灯設定の場合は朝まで持たずに途中で消灯する。

【限界症状】

「そろそろ交換」の状態が起きてから数ヶ月後に、「天気が良くても点灯しない」「点灯するがすぐに消灯する。」このような症状が出始めます。これが**限界症状**です。満充電になっても数十分で放電してしまう、これがバッテリーの寿命が尽きた状態です。

【SEMI-LED-4P-JH 100Wタイプでは】

40W、45Wタイプよりバッテリーの寿命は長いと考えています。しっかり満充電にできるため、放電深度を浅く抑えることができるからです。こちらも現在テスト中です。

【交換のタイミング】

一般的なソーラーライトのバッテリー交換は、定期的に期限を決めて寿命を残した状態でおこなうのが普通ですが、せみ・ソーラーライトのバッテリー交換はすべて寿命を使い果たしてからの交換です。水銀灯の電球を交換する感覚で、LEDが点灯しなくなったらバッテリーを交換します。

【交換方法】

交換するバッテリーは2個。上段、下段とあり、電線にコネクタが付いた状態で交換バッテリーが届きます。既設のバッテリーを取り外し、新しいバッテリーをボックス内の棚に挿入。白のコネクタ、青、赤の順で接続し、コントローラーの赤ボタンを押して点灯確認すれば、バッテリー交換は終了です。